

平成25年度  
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟新人柔道大会 要項

- 1 主催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会  
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 平成25年10月5日(土) <男女団体戦><男女個人戦>  
7時00分 開場  
8時00分 集合・服装検査 (8:30終了)  
8時30分 審判会議  
8時45分 開会式  
9時00分 試合開始 (午前:団体戦 午後:個人戦)
- 4 会場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905  
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定及び少年大会申し合わせ事項による。ただし、伊勢崎佐波中体連申合せ事項を優先する。団体戦の判定基準は「有効」又は「指導2」以上とする。代表戦及び個人戦は必ず勝敗を決する。
- 6 選手 (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。  
(2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。  
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。  
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。  
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。  
(5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。  
(6)男子個人戦、女子個人戦ともに第1ブロックと第2ブロックの2階級とする。ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。
- 7 試合時間 団体戦:予選リーグ2分 男子決勝トーナメント/女子決勝リーグ・5-7位リーグ3分  
個人戦:2分
- 8 試合方法 《団体戦》  
(1)男子は5校による予選リーグを行い、各予選リーグの3校勝ち上がりによる決勝トーナメント戦を行う。女子は、4校、3校による予選リーグを行い、2校勝ち上がりによる決勝トーナメント選を行う。  
(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。  
ア:チーム間の勝ち数による。  
イ:アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。  
ウ:イにおいて同等のときは、引き分けとする。  
(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。  
ア:チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。  
イ:アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。  
ウ:イにおいて合計点が同等のときは、勝ち点の内容により決定する。  
エ:ウにおいて同等のときは、代表戦により決定する。  
(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。  
ア:チーム間の勝ち数による。

イ：アにおいて同等のときは、勝ち点の合計による。  
ウ：イにおいて同等のときは、代表戦により決定する。

《個人戦》

- (1) 男子、女子ともに2階級でトーナメント戦を行う。
- (2) 2分間の試合時間における試合態度、技の巧拙、及び反則の有無等を比較して、必ず勝敗を決する。

9 表 彰 団体戦の優勝校には、優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校、第3位校に賞状を授与する。個人戦は、各階級ごとの優勝者に賞状を授与する。

10 代表資格 《団体戦》【男・女】

・優勝校及び準優勝校、3位校が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、4位校を補欠校とする。⇒ 9月12日(木)の県運営委員会で校数は決定します。

《個人戦》【男・女】

・県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

11 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

- (1) 予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。なおも得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決定する。
- (2) 決勝トーナメント、女子決勝リーグ、5-7位リーグにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。なおも得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決定する。

《個人戦》

- (1) 得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。延長戦は行わない。

12 その他

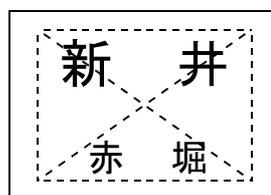
- (1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5～10cm下に下記のように付ける。
- (2) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿)を着用する。
- (3) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
- (4) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。
- (5) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部受付へ提出する。
- (6) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
  - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(メンバー表)・・・模造紙1/4の大きさに

先	次	中	副	大	学
					校
					名
					補員

(ゼッケン)

30～35(cm)



25  
～  
30  
(cm)

- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける
- ・指がどこにも入りひっかかたりしないように縫う